

●対戦相手は遠く離れた高校に
— ネットロボコン —

全国に点在するこのプロジエクトの参加校(本校、山梨県立甲府工高、滋賀県立八幡工高、福井県立春江工高など)をインターネットTV会議システムで結び、それぞれの学校が会場となりロボット競技(ロボコン)を行うという試みを電子情報科の生徒が行っており

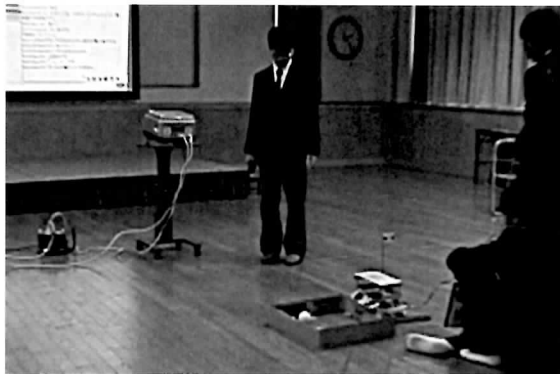
現在、様々なロボコンが全国各地で行われていますが、どれも一箇所の会場に集まる事を前提としている為、ロボットの輸送、滞在費など、手軽に競技を行うためには問題があります。

しかし、ネットロボコンならインターネットで映像を送れる設備さえあれば、すぐに全国規模のロボットコンテストができます。

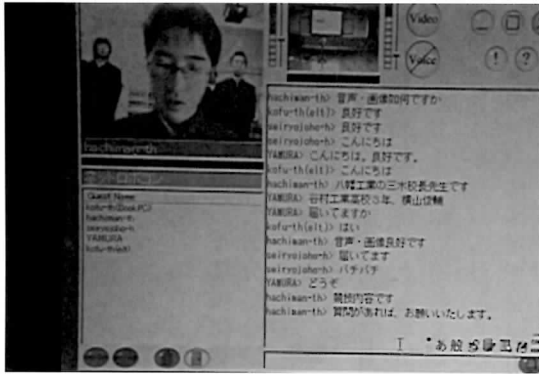
遠く離れていつつも同じ夢を見る高校生達との情報交換やロボット競技は、私達のやる気と興味を高ぶらせ、いつも通っている学校に居ながらも、どこか違う空間にいるような雰囲気を感じます。

インターネットの新たな活用法を探り、広く社会にその成果を還元すべく全国の共同研究者との連携は続きます。

ネットロボコンの様子



ネットロボコンで使用するソフトウェアの画面



●パソコンの鬼となれ
— パソコン甲子園 —

今年からはじまった高校生によるパソコンスキルを競うコンテスト「パソコン甲子園」に山梨県内では唯一の出場校として電子情報科の生徒がその名を連ねました。

プログラミング部門とCG・コンテンツ部門があり、本校ではその両方に参加しました。プログラミング部門では普段から実習で学習しているC言語を駆使して、一時間で二十本の問題を解く(プログラムを作成する)競技に挑戦しました。

パソコン甲子園に向けての
プログラミングの授業



またCG・コンテンツ部門では「二〇二〇年の高校生活」をテーマにWEBコンテンツを開発しました。プログラミング部門は惜しくも予選を突破する事ができませんでしたが、CG・コンテンツ部門では予選に参加した全国八十五チームの中から本選出場十五チームの一つに選ばれました。十一月下旬の本選参加に向けて現在準備の最終段階を迎えています。

●課題研究発表会

— 三年間の集大成 —

本校の生徒は三年生になると「課題研究」という授業に取り組みます。この課題研究というものは、それまで学んだ専門学科に関する課題を自ら設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を養うことをねらいとするものです。そして卒業を控えた一月の下旬に、各学科・コースの代表者が全校生徒の前で大型スクリーンを使用して、一年間の研究の成果を発表します。研究そのものは一年間ですが、学んだ専門学科の内容は三年間を総括するものな

ので、発表者として選ばれた生徒は臆することなく全員胸を張って堂々としております。またこの発表会はうぐいすホールをお借りして開催され、本校生徒・先生方だけではなく保護者や中学生、他校の生徒も聴くことが出来る体制をとっております。また、地域企業の事業主様や地元中学校の校長先生を招いて、講評をいただくといった地域との連携を持った特色ある行事となっております。

是非、今年度の発表会にはご参加ください。

プレゼンテーションの様子

